

# 令和6年度第3回学校運営協議会・第2回いじめ防止対策委員会 記録

令和7年2月13日（金） 11:30～14:30

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

## 3 校長あいさつ

## 4 令和6年度の学校運営に関する報告等

～アンケート（保護者・児童・教職員）から

## 5 熟議「学校評価シート（学校自己評価システムシート）」から

※ 出席委員全員から発言をいただき、意見交換等を行った。

※ 出席委員全員から承認を得ました。

## 6 令和7年度の学校運営に関する基本的な方針について

～経営方針（案）1～5、重点目標(1)～(7)

※ 出席委員全員より仮承認を得ました。

## —— 給食

## 7 令和6年度におけるいじめ防止対策の取組について

※別紙「令和6年度 いじめ報告」より

## ○ その他（事務連絡等）

(1) 「令和6年度さいたま市コミュニティスクールに関するアンケート調査」御協力のお願い  
(すでに資料等はお届けしてあります。改めてお願いいたします。)

(2) 令和7年度 日進北小学校学校行事予定

## 8 校内参観（各自で校内をご参観後に自由解散）

(参考資料)

第2回学校運営協議会「熟議」記述より

①「参観を通して見られた子ども達の姿～4つの視点から」(列記しました)

※4つの視点…あいさつ・おもいやり・意欲・自律(立)

- ・各学年各クラスいろいろなタイプの指導方法があるが、それでよい。
- ・授業の中での児童は意欲的に発言していた。
- ・パソコンで調べる子やそのほかの方法で調べる子など、意欲的に取り組んでいた。
- ・5年生のバスレク、友達を当てるクイズは素晴らしいと思いました、
- ・タブレットなどで自主的に勉強している姿が見られましたが、自主的でない児童が心配。
- ・授業の内容により見られた子ども達の姿は違っていました、とても意欲的に取り組んでいたように思う。
- ・男女間のコミュニケーションができる状況を感じました。
- ・高学年については、自主的な挨拶ができているように思えました。集中力も学年が上がるにつれて増していると思いました。
- ・あいさつ、明るい声で元気よくできていました。反面、自由に動き回って落ち着きがないように感じました。
- ・児童会の子ども達の姿からも、日進北小の前向きな児童の姿が感じられます。いかにより良いものができるかと取り組んでいる行動力が素晴らしいです。
- ・見慣れている人に対しては元気に挨拶をしてくれます。旗振り時はあまり挨拶を返してくれない子も、こちらから声をかけることで「あ、防犯の人！」と覚えてくれ元気な挨拶をもらえました。低学年でも困っている子に対して優しく声をかけ手伝っている姿が見られ「ありがとうございます」を伝え合っていました。
- ・集中力は高いように思いますが、自分から発する力まだ弱いように思う。「完べき」じゃないといけないような雰囲気があるのかな？
- ・あいさつについて子供によって違いますが、できる子は目を見てはっきりあいさつしてくれる。
- ・(授業中)とても素直な印象。楽しく授業を受けていると思います。
- ・教師の「クラスのお楽しみ会」について「どうしたらもっと楽しくなるかな」との問いかけに、一人一人が自分の考えを言い、よい考えに対しては「いいね」と共感している姿。ひとつの目的にみんなで行っている。
- ・授業の方法として動画を見る、具体的な画像からいろいろな気づきをしている。途中で思

いついたことを発現し、それに対して肯定している姿。今の児童にあった教育方法であり、とても有効であるように思う。

・授業中まだ帽子をかぶっている友達に対しさりげなく言葉をかけている姿。相手のことを考えての行動であり、おもいやりにあふれた行動ではないか。

・多用は個性を持った児童、それぞれの授業参加方法があり、それによって他の児童が振り回されることなく授業が展開している。「いろいろな人とかかわり、友だちの個性を知ろう」につながる。

## ②「さらなる成長のために期待すること」(列記しました)

・小6年生を中心に、低学年との交流を年3回位していく。

・児童会の発表で、6年生が下の学年の見本になるような「あいさつ運動」をしている、と発表したので、期待できると思いました。

・「クラスのお楽しみ会」を学生(大学の)・低学年・高学年とのかかわりにつなげられないか。

・iPadを使つての授業、自動化の活動を説明するために作成したスキルを他の児童にも。

・「ストップいじめ」のかつどうが全児童に理解され実践されるとよい。

・地域と先生方の結びつきや先生方のすごさを、見せる。→公民館等講座の講師等を例として、合唱の指導者…Nコン、すごいこと。

・学校子ども達への教育力、その姿。

・子供たちの取組の素晴らしさ。

・保護者の学前向きな姿。

} 公民館は見せて示せて広める機関なので、活用を!

・周りの様子を見て、先生が言っていることを声かけすること。

・よいと思ったことは間違っても恥ずかしくてもやってみること。

・みながやるからやるという雰囲気ではなく、自分から動くこと。

・もっと積極的な挨拶。

・いじめもそうだけれど、やってしまったとき、失敗したとしても「次にどうすればいいのか」を考えることが大切かな…。失敗しないようにするのも大切かもしれまいが…。失敗した時こそ成長するチャンスでは？

・高学年(年上)をうやまい、低学年(年下)を思いやる、一緒に何かをする。

・児童会の活動が素晴らしかったので、もっと一人一人に浸透できるとよいと思いました。

③「テーマに迫る「地域・学校協働活動」を求めて」（列記しました）

- ・ゴミ拾い、防災訓練、Sola ルームのボランティアなどを増やして、地域の人が学校をもっと近く感じられるようになったらよい。
  - ・ゴミ拾いのゴールを学校にする取り組みは面白いと思いました。2月の寒い時期だけでなく、気候の良い時期に実施することも考えてよいと思います。
  - ・Sola ルームの支援者の募集は「何をしてほしいか」を明確にすることが必要。
  - ・SSN に関して、昨年と同じものであったので、違う内容の方が子ども達を誘いやすい。
  - ・夏祭りや地域のイベントに、{学校として・クラスとして} まとまった、(参加、出演、協力) する取り組みを行う。
  - ・地域の人たちを多く巻き込むために、地域の人たちのやりがい (子どもの喜ぶ顔、子どもからありがとうと言ってもらう等) を作り出す取り組みが大事。
  - ・イベントや見守りに、「あいさつ」+「ありがとうございます」の促しを。
  - ・大谷選手のグローブを使用して運動会の種目を作る。地域の人へも見せられる。
  - ・自治会行事への参加促進。
  - ・地域と学校の協働活動を年1回でなく、年2回位行事を増やしてみてもどうか。今は防災教室のみで、今後はその他の行事を考える。
  - ・自治会の行事
  - ・親子行事 (PTA)
  - ・公民館の活用
- 親がもっと参加できるように。今の子どもたちは土日が忙しすぎる。
- ・公民館の地域対象事業 (公民館文化祭・夏休み子ども公民館・家庭教育学習等) より、保護者や児童が参加できる工夫をします。※11/14に日進中生徒によるスマイルフェスティバルを実施。